



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日  
東

上場会社名 住友大阪セメント株式会社 上場取引所  
 コード番号 5232 URL <http://www.soc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 関根福一  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 大塚千明 (TEL) 03-5211-4505  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	111,496	0.3	8,822	2.3	10,131	7.2	4,148	△28.0
26年3月期第2四半期	111,185	4.4	8,620	54.7	9,450	67.7	5,764	150.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 7,025百万円(△15.7%) 26年3月期第2四半期 8,329百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	9.97	—
26年3月期第2四半期	13.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	320,219	160,153	49.5
26年3月期	325,328	154,821	47.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 158,655百万円 26年3月期 153,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.50	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,000	0.4	22,000	2.3	23,000	2.7	12,100	△9.2	29.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	417,432,175株	26年3月期	417,432,175株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,338,234株	26年3月期	1,300,193株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	416,113,909株	26年3月期2Q	416,237,441株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
(4) 配当予想に関する情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 連結セグメント損益	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当上半期におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により、個人消費等については、弱い動きが見られたものの、政府の経済対策等の効果を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

セメント業界におきましては、公共投資が堅調に推移し、民間設備投資が増加したものの、民間住宅投資が減少したことに加え、技能労働者の不足等の影響もあり、官公需、民需ともにほぼ前年同期並みで推移したことから、セメント国内需要は、前年同期を1.3%下回る22,610千トンとなりました。一方、輸出は、前年同期を11.1%上回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前年同期を1.2%上回る27,051千トンとなりました。

このような情勢の中で、当社グループは、セメントをはじめとする各種製品の安定供給を推進するとともに、持続的発展を目指し、グループを挙げてコスト削減等への取り組みに注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、111,496百万円と前年同期に比べ310百万円の増収、経常利益は10,131百万円と前年同期に比べ681百万円の増益となりました。また、四半期純利益につきましては、4,148百万円と前年同期に比べ1,616百万円の減益となりました。

### (2) 連結財政状況に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、320,219百万円と前連結会計年度末と比較して5,109百万円減少しました。資産の部における増減の主なものは、現金及び預金の減少7,421百万円、受取手形及び売掛金の減少2,350百万円、投資有価証券の増加5,017百万円です。また、負債の部における増減の主なものは、借入金の減少10,386百万円、未払法人税等の減少2,486百万円です。

一方、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、160,153百万円と前連結会計年度末と比較して5,331百万円増加しました。増減の主なものは、利益剰余金の増加2,473百万円、その他有価証券評価差額金の増加3,134百万円です。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回予想（平成26年5月13日発表）の見直しを行っております。

### (4) 配当予想に関する情報

平成27年3月期の配当予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました配当予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（平成26年11月6日）公表いたしました、「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の基礎となる期間の決定方法についても、従業員の平均残存期間に近似した年数に基づく決定方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する決定方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が986百万円増加し、利益剰余金が634百万円減少しております。なお、損益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,081	24,660
受取手形及び売掛金	47,038	44,688
商品及び製品	6,215	6,817
仕掛品	1,477	2,835
原材料及び貯蔵品	10,014	10,238
繰延税金資産	1,801	1,707
短期貸付金	437	201
その他	2,574	2,300
貸倒引当金	△216	△189
流動資産合計	101,425	93,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	159,708	160,023
減価償却累計額	△107,775	△109,189
建物及び構築物(純額)	51,933	50,833
機械装置及び運搬具	392,550	395,518
減価償却累計額	△342,735	△347,243
機械装置及び運搬具(純額)	49,815	48,274
土地	38,845	38,812
建設仮勘定	3,671	4,548
その他	33,425	34,039
減価償却累計額	△17,885	△18,130
その他(純額)	15,540	15,908
有形固定資産合計	159,806	158,377
無形固定資産		
のれん	206	130
その他	2,849	2,281
無形固定資産合計	3,056	2,411
投資その他の資産		
投資有価証券	51,933	56,951
長期貸付金	2,618	2,760
繰延税金資産	787	870
退職給付に係る資産	230	250
その他	6,209	6,008
貸倒引当金	△739	△672
投資その他の資産合計	61,039	66,168
固定資産合計	223,902	226,957
資産合計	325,328	320,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,790	26,535
短期借入金	32,764	32,810
1年内返済予定の長期借入金	15,939	8,505
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	5,805	3,319
賞与引当金	2,192	2,201
その他	9,870	11,053
流動負債合計	99,362	89,425
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	34,443	31,446
繰延税金負債	13,760	15,230
役員退職慰労引当金	212	191
厚生年金基金解散損失引当金	-	405
退職給付に係る負債	2,277	3,075
資産除去債務	707	685
その他	9,742	9,605
固定負債合計	71,144	70,640
負債合計	170,507	160,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,654	41,654
資本剰余金	29,282	29,282
利益剰余金	60,829	63,302
自己株式	△236	△251
株主資本合計	131,529	133,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,117	25,252
為替換算調整勘定	409	22
退職給付に係る調整累計額	△710	△607
その他の包括利益累計額合計	21,816	24,667
少数株主持分	1,475	1,497
純資産合計	154,821	160,153
負債純資産合計	325,328	320,219

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	111,185	111,496
売上原価	84,655	85,064
売上総利益	26,529	26,431
販売費及び一般管理費	17,909	17,608
営業利益	8,620	8,822
営業外収益		
受取利息	77	46
受取配当金	1,106	1,392
為替差益	220	365
持分法による投資利益	105	137
その他	320	344
営業外収益合計	1,830	2,286
営業外費用		
支払利息	677	608
その他	323	369
営業外費用合計	1,000	977
経常利益	9,450	10,131
特別利益		
固定資産売却益	31	158
投資有価証券売却益	18	—
受取和解金	—	300
特別利益合計	49	458
特別損失		
固定資産除却損	259	568
固定資産売却損	—	1
投資有価証券評価損	1	—
減損損失	111	2,079
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	405
特別損失合計	372	3,053
税金等調整前四半期純利益	9,127	7,536
法人税、住民税及び事業税	2,979	3,331
法人税等調整額	339	30
法人税等合計	3,319	3,361
少数株主損益調整前四半期純利益	5,807	4,174
少数株主利益	43	26
四半期純利益	5,764	4,148



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,807	4,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,344	3,135
為替換算調整勘定	176	△386
退職給付に係る調整額	-	103
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	2,521	2,851
四半期包括利益	8,329	7,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,286	6,999
少数株主に係る四半期包括利益	43	26

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,127	7,536
減価償却費	7,926	8,141
減損損失	111	2,079
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	405
のれん償却額	66	76
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△63	△44
受取利息及び受取配当金	△1,184	△1,438
支払利息	677	608
為替差損益 (△は益)	△355	△390
持分法による投資損益 (△は益)	△105	△137
有形固定資産売却損益 (△は益)	△31	△158
売上債権の増減額 (△は増加)	5,155	2,336
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△958	△2,199
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,906	△1,228
その他	△228	△839
小計	18,231	14,746
利息及び配当金の受取額	1,184	1,441
利息の支払額	△716	△642
法人税等の支払額	△3,801	△5,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,898	9,752
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△8,007	△6,239
固定資産の売却による収入	25	265
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	231	-
貸付けによる支出	△798	△101
貸付金の回収による収入	332	355
その他	△9	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,228	△5,724
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△607	58
長期借入れによる収入	6,130	1,350
長期借入金の返済による支出	△5,677	△11,777
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△19	△14
配当金の支払額	△2,081	△1,040
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△41	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,300	△11,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	145	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,514	△7,425
現金及び現金同等物の期首残高	25,078	31,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,592	24,503

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							注1 調整額 (百万円)	注2 四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	セメント (百万円)	鉱産品 (百万円)	建材 (百万円)	光電子 (百万円)	新材料 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	88,249	6,254	7,870	3,107	2,353	3,349	111,185	—	111,185
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,558	2,111	839	24	4	2,510	7,048	△7,048	—
計	89,807	8,366	8,710	3,131	2,358	5,860	118,234	△7,048	111,185
セグメント利益又は 損失(△)	7,078	611	458	481	252	△210	8,672	△52	8,620

(注) 1. セグメント利益の調整額△52百万円は、セグメント間取引消去である。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							注1 調整額 (百万円)	注2 四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	セメント (百万円)	鉱産品 (百万円)	建材 (百万円)	光電子 (百万円)	新材料 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	88,247	6,556	7,494	3,542	2,427	3,227	111,496	—	111,496
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,648	2,171	893	6	—	2,537	7,257	△7,257	—
計	89,895	8,728	8,388	3,549	2,427	5,765	118,753	△7,257	111,496
セグメント利益	6,262	945	261	673	526	116	8,784	38	8,822

(注) 1. セグメント利益の調整額38百万円は、セグメント間取引消去である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 連結セグメント損益 (期間比較)

(百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率(%)
セメント事業	88,249	88,247	△1	△0.0
鋳産品事業	6,254	6,556	302	4.8
建材事業	7,870	7,494	△376	△4.8
光電子事業	3,107	3,542	435	14.0
新材料事業	2,353	2,427	73	3.1
その他事業	3,349	3,227	△122	△3.6
外部顧客に対する売上高	111,185	111,496	310	0.3
セメント事業	7,078	6,262	△815	△11.5
鋳産品事業	611	945	333	54.6
建材事業	458	261	△197	△43.1
光電子事業	481	673	191	39.9
新材料事業	252	526	273	108.0
その他事業	△210	116	326	—
調整額	△52	38	90	—
営業利益	8,620	8,822	202	2.3
営業外収益	1,830	2,286	455	24.9
営業外費用	1,000	977	△23	△2.3
営業外損益	830	1,308	478	—
経常利益	9,450	10,131	681	7.2
特別利益	49	458	408	823.2
特別損失	372	3,053	2,680	719.4
特別損益	△323	△2,595	△2,272	—
四半期純利益	5,764	4,148	△1,616	△28.0